

# 01

## 森の話とペーパースタンド作り

桑名市立修徳小学校



森の写真を見せてもらっています



卵型の木材に底面を作ります



木になりきって、手入れの大切さについて考えます



森のせんせいにコツを教えてもらってサンドペーパーを使います

### ねらい

- ・ 森林のはたらきを学び、木の良さを体験する
- ・ 林業に携わる人から、地域の森林や林業の話聞き、森林や林業への理解を深める

### 取組内容

森の話では、森林による二酸化炭素の吸収や森のせんせいがどのように森の中で働いているのか、動画などで説明がありました。針葉樹、広葉樹などいろいろな木があることや枝打ちや間伐がなぜ必要なのかという話を聞きました。子どもたちは、初めて知る林業という産業に興味をもち、その大切さを感じることができました。

ペーパースタンド作りでは、卵型の木材にサンドペーパーで底面を作りました。卵型の木をさわっていることが心地よさそうで、「けずりたくない」という子もいましたが、「地震があっても転がらないくらいにしよう」と、一生懸命磨いていました。この活動により、木材の素材としての良さと、環境保全の大切さを学んでいくきっかけとなりました。

内容	・森林・林業の講話 ・木工クラフト
時間	1 時間 30 分（社会科）
場所	多目的室
対象	5 年生 50 人
講師	森のせんせい：谷上浩一氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 いろいろな種類の木を、いろいろな形でさわることができ、木の香りや肌ざわりを楽しんでいました。特に、自分でサンドペーパーをかけた卵型の木を、ずっとさわって楽しんでいました。